

令和2年度第2回山梨県公立大学法人評価委員会 議事概要

- 1 日 時 令和2年8月7日（金）午後2時05分～午後3時55分
- 2 場 所 山梨県庁本館2階県民生活部会議室 他（Web会議による）
- 3 出席者 委 員 金丸康信 島田眞路 古屋玉枝 山口由美子
法 人 清水理事長 相原副理事長 平塚理事 下村理事 流石理事
事務局 小林県民生活部次長 小林私学・科学振興課長 ほか

<議題>

- （1） 令和2年度第1回山梨県公立大学法人評価委員会議事概要（案）について
審議の結果、各委員から特段の意見なく、案のとおり了承。

<議題>

- （2） 公立大学法人山梨県立大学 令和元年度業務実績に関する評価及び評価結果（案）
について

◆事務局

資料2、3により説明。

◆法人

資料4、参考資料1より説明

○委員長代理

小項目4について、委員がIVという評価をしておりますが如何でしょうか。

○委員

他の委員同様、Ⅲでも構わない。

○委員長代理

それでは、この小項目はⅢという評価にさせていただきます。

○委員長代理

小項目6について、委員の評価が割れておりますが如何でしょうか。

○委員

国家試験の合格率も高いことからIVの評価でも構わない。

○委員

昨年度と比較しても高い国家試験の合格率であることからIVの評価でも構わない。

○委員長代理

それでは、この小項目はIVという評価にさせていただきます。

○委員長代理

小項目8について、私がIVという評価をしているが、他の委員と同様Ⅲという評価でも構わないので、この小項目はⅢという評価にさせていただきます。

○委員長代理

小項目9について、私がⅣという評価をしているが、他の委員と同様Ⅲという評価でも構わないので、この小項目はⅢという評価にさせていただきます。

○委員長代理

小項目11について、委員のみⅡという評価をしておりますが、期待されるというコメントもありますので、この小項目はⅢという評価で如何でしょうか。

○委員

異議なし

○委員長代理

それでは、この小項目はⅢという評価にさせていただきます。

○委員長代理

小項目13については、「アクティブラーニングとしての卒業論文・卒業ゼミを対象にルーブリック評価法を開発する。」ということに対してですが、委員の評価が分かれております。如何でしょうか。

○委員

私はⅢにさせていただいてはおりますが、結論が次年度にということになっておりますので、それを考慮するとⅡという評価でも良いのかなと思っております。

○委員

私もⅢという評価にさせていただいてはおりますが、次年度に結論を出すということが少し気になりましたので、委員長代理がおっしゃるとおり、期待を込めながらⅡという評価でも良いかなと思いました。

○委員

Ⅱという評価でも構わない。

○委員長代理

それでは、この小項目はⅡという評価にさせていただきます。

○委員長代理

大項目Ⅰ－1－(1)について、委員の評価の平均からAという評価で如何でしょうか。

○委員

異議なし

○委員長代理

それでは、この大項目はAという評価にさせていただきます。

○委員長代理

小項目14について、委員のみⅢという評価になっておりますが、他の委員がⅣという評価をしているため、この小項目はⅣという評価で如何でしょうか。

○委員

異議なし

○委員長代理

それでは、この小項目はⅣという評価にさせていただきます。

○委員長代理

大項目 I - 1 - (2) について、委員の評価の平均からAという評価で如何でしょうか。

○委員

異議なし

○委員長代理

それでは、この大項目はAという評価にさせていただきます。

○委員長代理

小項目 1 5 について、委員のみIVという評価になっておりますが、他の委員がⅢという評価をしているため、この小項目はⅢという評価で如何でしょうか。

○委員

異議なし

○委員長代理

それでは、この小項目はⅢという評価にさせていただきます。

○委員長代理

小項目 1 7 について、学生に対する健康管理の取り組み（学校健康管理データの蓄積やメンタルヘルス相談など）ですが、委員の評価が分かれています。如何でしょうか。

○委員

私の時代は、大学において学生の健康管理は行っていなかったと思う。今の時代なのかもしれないが、このような取り組みに対してはIVという高い評価をさせていただきました。

○委員

コメントに記載したところではあるが、支援の継続、支援者（職員）の資質向上という期待を込めて、IVという評価でも良いかなと思います。

○委員

学生に対してきめ細やかな健康管理をしているということで、IVという評価でも良いかなと思います。

○委員長代理

私もIVという評価でも良いと思いますので、この小項目はIVという評価にさせていただきます。

○委員長代理

小項目 1 8 について、委員のみIVという評価になっておりますが、他の委員がⅢという評価をしているため、この小項目はⅢという評価で如何でしょうか。

○委員

異議なし

○委員長代理

それでは、この小項目はⅢという評価にさせていただきます。

○委員長代理

小項目 1 9 について、委員のみIVという評価になっておりますが、他の委員がⅢという評価をしているため、この小項目はⅢという評価で如何でしょうか。

○委員

異議なし

○委員長代理

それでは、この小項目はⅢという評価にさせていただきます。

○委員長代理

大項目Ⅰ－１－（３）について、委員のみSという評価になっておりますが、他の委員がAという評価をしているため、この大項目はAという評価で如何でしょうか。

○委員

異議なし

○委員長代理

それでは、この大項目はAという評価にさせていただきます。

○委員長代理

小項目2 1について、委員がⅣという評価をしておりますが如何でしょうか。

○委員

他の委員と同様、Ⅲでも構わない。

○委員長代理

それでは、この小項目はⅢという評価にさせていただきます。

○委員長代理

小項目2 3について、委員のみⅣという評価になっておりますが、他の委員がⅢという評価をしているため、この小項目はⅢという評価で如何でしょうか。

○委員

異議なし

○委員長代理

それでは、この小項目はⅢという評価にさせていただきます。

○委員長代理

小項目2 4について、委員のみⅡという評価になっておりますが、他の委員がⅢという評価をしているため、この小項目はⅢという評価で如何でしょうか。

○委員

異議なし

○委員長代理

それでは、この小項目はⅢという評価にさせていただきます。

○委員長代理

大項目Ⅰ－２－（２）について、委員のみBという評価になっておりますが、これはⅡという小項目があったからだと思いますので、他の委員がAという評価をしているため、この大項目はAという評価で如何でしょうか。

○委員

異議なし

○委員長代理

それでは、この大項目はAという評価にさせていただきます。

○委員長代理

小項目28について、「日本学生支援機構や大村基金などの奨学金を活用したプログラムの充実を行う。」ことに対してですが、委員の評価が分かれています。如何でしょうか。

○委員

他学部への広がりもあるため、IVという評価でも良いかなと思います。

○委員長代理

私もIVという評価でも良いと思いますので、この小項目はIVという評価にさせていただきます。

○委員長代理

小項目29について、委員がIVという評価をしておりますが如何でしょうか。

○委員

中期計画を上回って外国人教員の比率が着実に伸びてきているため、IVという評価をさせていただいたが、IIIという評価でも構わない。

○委員長代理

それでは、この小項目はIIIという評価にさせていただきます。

○委員長代理

大項目I-3について、委員のみSという評価になっておりますが、他の委員がAという評価をしているため、この大項目はAという評価で如何でしょうか。

○委員

異議なし

○委員長代理

それでは、この大項目はAという評価にさせていただきます。

○委員長代理

小項目34について、「日本語・日本文化講座」の開催の継続ということで、委員の評価が分かれています。如何でしょうか。

○委員

評価を迷ったところです。他の委員に合わせたいと思います。

○委員

IVという評価で構わない。

○委員長代理

それでは、この小項目はIVという評価にさせていただきます。

○委員長代理

小項目36について、委員のみIVという評価になっておりますが、他の委員がIIIという評価をしているため、この小項目はIIIという評価で如何でしょうか。

○委員

異議なし

○委員長代理

それでは、この小項目はⅢという評価にさせていただきます。

○委員長代理

小項目37について、委員がⅡという評価をしておりますが如何でしょうか。

○委員

他の委員と同様、Ⅲという評価でも構わない。

○委員長代理

それでは、この小項目はⅢという評価にさせていただきます。

○委員長代理

小項目38について、ガバナンス・コードに則って運営体制を見直すということですが、委員の評価が分かれております。如何でしょうか。

○委員

大学アライアンスやまなしの取り組みは素晴らしいと思うが、この小項目は大学内部の内容のことだと思うので、外部との取り組みがここに当てはまるのかなということが気になった。Ⅳという評価でも構わない。

○委員長代理

それでは、この小項目はⅣという評価にさせていただきます。

○委員長代理

小項目39について、優秀な若手教員の登用を図るということですが、委員の評価が分かれております。如何でしょうか。

○委員

山梨大学との交流人事の基本方針を策定したとのことだが、これから本格的な実施になるということでⅢという評価にした。Ⅳという評価でも構わない。

○委員長代理

それでは、この小項目はⅣという評価にさせていただきます。

○委員長代理

小項目40について、委員のみⅡという評価になっておりますが、他の委員がⅢという評価をしているため、この小項目はⅢという評価で如何でしょうか。

○委員

異議なし

○委員長代理

それでは、この小項目はⅢという評価にさせていただきます。

○委員長代理

小項目43について、委員のみⅡという評価になっておりますが、他の委員がⅢという評価をしているため、この小項目はⅢという評価で如何でしょうか。

○委員

異議なし

○委員長代理

それでは、この小項目はⅢという評価にさせていただきます。

○委員長代理

小項目44について、委員のみⅣという評価になっておりますが、他の委員がⅢという評価をしているため、この小項目はⅢという評価で如何でしょうか。

○委員

異議なし

○委員長代理

それでは、この小項目はⅢという評価にさせていただきます。

○委員長代理

大項目Ⅲ-1について、委員の評価が分かれております。平均するとAが妥当かなと思いますが、如何でしょうか。

○委員

異議なし

○委員長代理

それでは、この大項目はAという評価にさせていただきます。

○委員長代理

小項目45について、評価が分かれておりますが、Ⅲという評価で如何でしょうか。

○委員

異議なし

○委員長代理

それでは、この小項目はⅢという評価にさせていただきます。

○委員長代理

小項目47について、委員がⅢという評価をしておりますが如何でしょうか。

○委員

他の委員と同様、Ⅳという評価で構わない。

○委員長代理

それでは、この小項目はⅣという評価にさせていただきます。

○委員長代理

大項目Ⅲ-2について、委員の評価の平均からAという評価で如何でしょうか。

○委員

異議なし

○委員長代理

それでは、この大項目はAという評価にさせていただきます。

○委員長代理

小項目49について、委員のみⅡという評価になっておりますが、他の委員がⅢという評価をしているため、この小項目はⅢという評価で如何でしょうか。

○委員

異議なし

○委員長代理

それでは、この小項目はⅢという評価にさせていただきます。

○委員長代理

大項目Ⅲ-3について、委員のみCという評価になるが、他の委員がAという評価をしているため、この大項目はAという評価で如何でしょうか。

○委員

異議なし

○委員長代理

それでは、この大項目はAという評価にさせていただきます。

○委員長代理

小項目50について、委員のみⅡという評価になっておりますが、他の委員がⅢという評価をしているため、この小項目はⅢという評価で如何でしょうか。

○委員

異議なし

○委員長代理

それでは、この小項目はⅢという評価にさせていただきます。

○委員長代理

小項目51について、委員のみⅣという評価になっておりますが、他の委員がⅢという評価をしているため、この小項目はⅢという評価で如何でしょうか。

○委員

異議なし

○委員長代理

それでは、この小項目はⅢという評価にさせていただきます。

○委員長代理

小項目52について、委員のみⅣという評価になっておりますが、他の委員がⅢという評価をしているため、この小項目はⅢという評価で如何でしょうか。

○委員

異議なし

○委員長代理

それでは、この小項目はⅢという評価にさせていただきます。

○委員長代理

小項目54について、委員のみⅡという評価になっておりますが、他の委員がⅢという評

価をしているため、この小項目はⅢという評価で如何でしょうか。

○委員

異議なし

○委員長代理

それでは、この小項目はⅢという評価にさせていただきます。

○委員長代理

大項目Ⅲ－4について、委員のみCという評価になるが、他の委員がAという評価をしているため、この大項目はAという評価で如何でしょうか。

○委員

異議なし

○委員長代理

それでは、この大項目はAという評価にさせていただきます。

<議題>

●(3) 公立大学法人山梨県立大学 第2期中期計画の変更に関する意見について

◆事務局、法人

資料5により説明。

審議の結果、各委員から特段の意見なく、案のとおり了承。

<議題>

●(4) 公立大学法人山梨県立大学 第2期中期計画目標期間の事前評価に係る業務実績報告書について

◆事務局

参考資料7により説明

◆法人

資料6により「大学の教育研究等の質の向上に関する目標」について説明

○委員

中期計画のNo. 4の項目のTOEICの件について、中期計画に位置付けた数値目標の達成が困難であるため、EEEプロジェクトを立案し、本年度からプロジェクトを実施しているところだと思えます。プロジェクトの実施にあたり、参考資料2の委員からの意見に対する回答の中に、2020年4月に1, 2年生を対象としてTOEIC-IP試験を行ったという記載がありますが、3, 4年生は対象としなかったのでしょうか。3, 4年生が対象外となると、今の1, 2年生は3年次以降、TOEIC-IP試験を受けることがないということでしょうか。

○法人

本日、担当者が不在ではございますが、とにかく1, 2年のうちから英語力をしっかりと身につけさせて、あと1年、中期目標期間がありますので、最後の4年生でこの目標達成させようという意気込みだと思えます。

(以上)